

## 第3次茅野市男女共同参画計画（案）に対するパブリックコメントについて

第3次茅野市男女共同参画計画（案）に対するパブリックコメントを実施し、貴重なご意見をいただきました。いただいたご意見の概要と市の考え方を次のとおりまとめましたので、公表します。

### ○パブリックコメントの実施状況

1 意見の募集期間 平成26年8月1日（金曜日）から平成26年9月1日（月曜日）まで

2 意見の受付数と件数 (1) 受付数 1通

(2) 件数 3件

### 3 意見の提出方法別通数

提出方法	電子メール	郵送	ファクシミリ	持参	計
人（団体）数	1通	0通	0通	0通	1通

(参考様式)

### 第3次茅野市男女共同参画計画（案）に対するパブリックコメントの結果について

#### 意見の概要と市の考え方

該当する項	いただいた意見の要旨	市の考え方
9ページ 「数値目標」中の「男女共同参画社会」という言葉の認知度について	言葉の認知度を上げることを目標とするよりも、茅野市が取り組んでいる男女共同参画社会へ向けての取り組み内容の認知度を上げる、ということを目指した方が、市行政への関心にも繋がるのではないのでしょうか。	男女共同参画社会へ向けて、計画に掲げる取組を積極的に行い、市民の方々に内容を認知してもらおうと思います。そうすることによって単に言葉を知ってもらうだけでなく男女共同参画社会づくりへの理解につながります。したがって「男女共同参画社会」という言葉を1つのバロメーターとして目標に設定しました。また、国や県、他団体と比較できるように、広く使用している目標値を使うことにしました。
15ページ 「数値目標」中の（仮）茅野市認定書交付事業所数について	平成25年度時点の実績表記がないのは交付基準が決まっていないということでしょうか。その場合、今後の基準次第で平成30年、35年の目標値達成となるため、目標としてふさわしくないのではないのでしょうか。	この事業は、現段階では実施されておらず、交付基準を事業所等からのご意見をお聞きしながら、職場環境を整える方向へ繋げられる効果的な事業としたいと考えます。 数値目標は、現在、県事業の「社員の子育て応援宣言」茅野市登録企業数を参考にしました。なお、進捗状況に応じて目標値を見直して取り組みます。
15ページ 「数値目標」中の「ワーク・ライフ・バランス」という用語の認知度について	言葉の認知度を目標にするよりも、職場における男女共同参画を推進するために、推進する企業に対して茅野市が何らかの優遇をすれば、民間企業でも男女共同参画が進むのではないのでしょうか。	「（仮）茅野市認定書交付事業」の認定基準に「ワーク・ライフ・バランス」への取組を含める予定です。この事業によってワーク・ライフ・バランスに取り組む企業を優遇することにつながるものと考えます。 また、ワーク・ライフ・バランスの実現は企業者側だけでなく、個人の生活の充実のために、従業員自身が働きかたの見直しをする意識改革も啓発していきます。 こうした取組の効果を測定するため、ワーク・ライフ・バランスという言葉の認知度を指標とし、数値目標を掲げました。